

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair Make upⅢ	年次	2	実務経験	担当	井上 満智
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1(月1・2)2(金1・2)
講師紹介	専門学校卒業後、ヘアメイク事務所にて6年間勤務。TV、スチール、ブライダル等のヘアメイクからサロンワークまで、幅広く担当したのち独立。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中					
目的 科目概要	実践的なヘアアレンジテクニックの習得、ヘアメイク、ファッションまでトータルコーディネートを考えて表現できる技術の習得を目指します。					
到達目標	カジュアルな場面で使いやすいヘアアレンジの習得、セルフアレンジの上達 自分がイメージしたスタイル、お客様がなりたいイメージを叶える表現力をつける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	トレンドのスタイルや、様々なヘアメイクのイメージがぱっと思いつくように、日ごろから意識して雑誌やSNSを見るようにする		
教材	ヘア道具一式、メイク道具一式、鏡					
特記事項	授業前に道具をセッティング					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ヘア技術の確認、復習	ウィッグを使ってカールアップスタイルを作る。 1年次に学んだ技術の確認と復習をし、苦手な個所を知る
2	ストレートアイロンを使ったアレンジ	ストレートアイロンの使い方を学ぶ(ストレート、カール、波巻き)
3	リボンを使ったアレンジ	編み込みの復習、リボンを使ったヘアアレンジの習得
4	相モデルでの実践①	巻きおろし、編み込みスタイルを相モデルで実践する
5	相モデルでの実践②	相モデルでアップスタイル(ピンを使うスタイル)に挑戦する
6	中間試験対策	相モデルでのヘアセットの練習
7	中間試験	相モデルでアップスタイルを作る(30分)
8	セルフヘアアレンジ①	セルフヘアアレンジの際、コテやアイロンの使い方のコツをつかむ
9	セルフヘアアレンジ②	まとめ髪セルフアレンジの練習
10	イメージ別ヘアメイク キュート系①	キュート系のヘアメイクを学び、実践する(セルフヘアメイク)
11	イメージ別ヘアメイク キュート系②	キュート系のヘアメイクを相モデルで実践する
12	イメージ別ヘアメイク クール系①	クール系のヘアメイクを学び、実践する(セルフヘアメイク)
13	イメージ別ヘアメイク クール系②	クール系のヘアメイクを相モデルで実践する
14	定期試験対策	テーマを決めてコンセプトシートの記入、練習
15	定期試験	トータルコーディネートをしてセルフヘアメイク、撮影をして提出

科目名 (英)	ブランド研究Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(月曜3・4)2組(金1・2)
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。退職後は、youtubeやInstagramにてメイク動画やコスメを配信中。					
目的 科目概要	プチプラからデパートコスメのブランド概要、トレンドのスキンケアやエステ、フレグランスなど最新の美容情報の共有。正しいSNSのUP方法を知る。					
到達目標	それぞれのメイクブランドのヒーローアイテム、歴史などを深掘りし、業界のことをさらに知ることができる。SNSでコスメ宣伝をする際の注意事項を学び、正しい加工技術や写真の撮り方ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材						
特記事項	ipadを持ってきてください。					
自分が買い物に出かけたとき、メイク系のパンフレットがあったら貰ってくる。いろんなブランドに興味を持とう！						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介／プレゼンテーション	自分の好きなブランドのことを調べてきて、1人3分くらいでプレゼンしてみよう。
2	世の中にあるメイクブランドの紹介	ブランドの違いは何だろう？国産メーカー、外資メーカー、スキンケア、メイクアップ…
3	国産ブランドの特徴	国産ブランドとは？…スキンケア系、メイクアップ系、ドラッグストア系をそれぞれ調べてみる。お手入れ会などのエステマッサージ、フレグランスにも触れてみよう。
4	外資ブランドの特徴	外資ブランドとは？…スキンケア系、メイクアップ系、それぞれ調べてみる。
5	プチプラコスメの特徴	ドラッグストアなど、町中で手軽に買えるプチプラコスメ。どんなブランドがある？
6	韓国コスメの人気の秘密	年々人気を増す韓国コスメの秘密を探ろう。
7	中間試験	頑張りましょう！
8	インフルエンサーコスメ	人気youtuber、アイドル、ヘアメイクさんプロデュースのコスメの特徴。人気の秘密。
9	自分の推しコスメをSNSにアップしよう！	コスメをきれいに撮るコツ。物撮りの基本。
10	色々な撮り方を知ろう	マクロ、アップ、スウォッチの撮り方のコツ。
11	写真を加工してみよう	加工のコツ、色味の加工、質感の違いの出し方。
12	SNSに載せる文章を考えよう	魅力的に聞こえる言葉選び、サウンドバイトとは？
13	実際に完成させよう	写真をそれぞれピックアップし、完成形を作ろう。
14	作った作品でプレゼンテーション	クラスみんなに、自分の作品を発表しよう！いい所を褒めあい、アドバイスしあおう！
15	定期試験	頑張りましょう！

科目名 (英)	トータルメイク Total make	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央						
		授業形態	演習									
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期						
		単位	4		曜日・時間	1組(火3・4)2組(月1・2)						
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELGジャパン(株)M.A.C.Iに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。退職後、youtubeやインスタグラムにてメイク動画やコスメを配信中。											
目的 科目概要	ファッションのトレンドや、カラーセオリーなどを元にメイクの基礎～応用を学ぶ。											
到達目標	ファッションとメイクのバランスを考えながら、作品を作ることができる。7月に行われるコンテストに向けてのメイク技術を上げることができる。											
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 口筆記試験 ■実技試験 ■作品											
教科書	<table border="1"> <tr> <td>教材</td> <td>配られたメイク道具一式とスマホかipad.</td> <td rowspan="2">事前事後 学習と その内容</td> <td rowspan="2">毎回の授業で作った作品は、チームズにアップすること。(小テスト)テーマに沿ったメイクをどう仕上げるか、ある程度事前に考えて臨みましょう。メイク台やツールは、お客様にお見せできるような状態をキープしましょう。</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td>指摘された場所は必ずメモをとり、次に生かすこと。</td> </tr> </table>						教材	配られたメイク道具一式とスマホかipad.	事前事後 学習と その内容	毎回の授業で作った作品は、チームズにアップすること。(小テスト)テーマに沿ったメイクをどう仕上げるか、ある程度事前に考えて臨みましょう。メイク台やツールは、お客様にお見せできるような状態をキープしましょう。	特記事項	指摘された場所は必ずメモをとり、次に生かすこと。
教材							配られたメイク道具一式とスマホかipad.	事前事後 学習と その内容			毎回の授業で作った作品は、チームズにアップすること。(小テスト)テーマに沿ったメイクをどう仕上げるか、ある程度事前に考えて臨みましょう。メイク台やツールは、お客様にお見せできるような状態をキープしましょう。	
特記事項							指摘された場所は必ずメモをとり、次に生かすこと。					
教材												
特記事項												

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介／はじめまして	まずはお手並み拝見！相モデルの子の良さを引き立たせるナチュラルメイクを仕上げる。
2	2022SS／ビビットカラーが流行	ビビットなファッションに負けないようなカラーメイクを、色相環を元に考えてメイクしよう。
3	ふんわりフェミニンなファッションには？	やわらかイメージのメイクを作るときのポイントは何だろう？
4	モード系かっこいいファッションには？	クールでかっこいい、ヘルシーな仕上がりにするポイントは何だろう？
5	韓国メイクに挑戦！！	メイクの流行の先駆け大国。韓国メイクの仕上げ方。水光肌、グラデーションリップの作り方。
6	中間試験のポイントをレクチャー	ポイントをレクチャーします。個々のセンスも光らせて！
7	中間試験	作品を丁寧に作ろう！
8	コンテスト対策／ベースメイク／プレゼン練習	きれいにベースメイクを仕上げるポイントを学ぶ。マット肌とつや肌を半々で作ろう。
9	コンテスト対策／パーツメイク／プレゼン練習	アイブロウ、アイメイク、チーク、リップをそれぞれきれいに作ろう。ゴールデンプロポーションを意識したパーツメイク作り。
10	コンテスト対策／バランスメイク／プレゼン練習	モデルの骨格や、雰囲気にあったバランスのいい仕上がりができるように、考えてメイクしよう。
11	コンテスト対策／課題のメイク／プレゼン練習	課題のメイクを実際に作り、最終調整をしよう。
12	2022AW／カラーメイクトレンドが続く模様	ファッショントレンドは、引き続きカラーメイク。AWメイクにあったカラーメイクを作るには？秋冬つばさを出す秘訣は？
13	アースカラーはAWの象徴	毎年流行する、アースカラーのファッション。メイクも合わせて秋先取りしよう。
14	前期の集大成	試験同様に、課題に合ったメイクを仕上げよう。パーツメイクの仕上がりがもしっかりと！
15	定期試験	前期に習ったことを生かして、丁寧に仕上げましょう。

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	村上 礼奈
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	1組(木1)2組(木2)
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティーアドバイザーとして都内百貨店に勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先への内定に繋げる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	MU科の5つのルール インターネットマナーについて	MU科の5つのルールを確認し、意識付けをする。 インターネットマナーを学び、ITリテラシーについて再度確認する。
2	個人とクラスの目標	目標についてどのように取り組むか、自分たちで決める。
3	就職対策①	就職活動の基礎を知り、希望就職先を見つけることができる。
4	就職対策②	履歴書の重要性を知り、ライバルに勝てる履歴書が書けるようになる。
5	就職対策③	面接の基本やポイントを知り、面接で自信を持てるようになる。
6	就職対策④	模擬面接をチームで行う。
7	中間試験	中間試験(1～6回目のまとめ)
8	グループワーク	グループワークで社会人基礎力【考える力】を身につける
9	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置を学ぶ。 どうすれば印象に残せるか学ぶ。
10	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語を正しく学ぶ。
11	社会人基礎力を身につける②	伝える力を学ぶ。
12	グループワーク	グループワークで社会人基礎力【チームで働く力】を身につける
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを個人で考え、チームで共有する。
14	振り返り	5年後、10年後のビジョンについて考える。考えたことを全体で共有する。
15	定期試験	定期試験(8～14回目のまとめ)

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅲ General Make upⅢ	年次	2	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(金1・2)2組(火3・4)
講師紹介	美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいます。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	基礎のテクニックを再確認して、より高度なメイクテクニックを学ぶ また、イメージに合った仕上がりやメイクアップの色形質感などで変わるイメージの違いなどを学んでいきます。					
到達目標	シチュエーションやイメージに合わせたメイクを習得しセルフと対人で仕上げるができる。 メイクバランスも理解できることで、今後社会に出た後にもお客様へのヘアメイクの提案、アドバイスも出来るようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりして授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・メイクイメージについて メイクアップ実習	今後の説明・メイクのイメージについて メイクテクニック確認 相モデル実習
2	イメージメイクアップ① 造形を理解する	造形について理解してメイクアップにつなげられるようになる
3	イメージメイクアップ② イメージの理解	モデルの造形を理解しメイクアップ出来るようになる
4	イメージメイクアップ③ イメージ4パターン	モデルの造形を理解しメイクアップ出来るようになる
5	イメージメイクアップ④ イメージ4パターン	ファッション性のあるメイクアップを学び実習することが出来るようになる
6	ファッションメイクアップ① コレクション系	ファッション性のあるメイクアップを学び実習することが出来るようになる
7	中間試験	相モデルで実習一タルで表現 デザインシートも作成
8	ファッションメイクアップ② コレクション系	ファッション性のあるメイクアップを学び実習することが出来るようになる
9	クリエイティブメイクアップ① アート系	想像力を養い、アートメイクを仕上げるこtが出来る
10	クリエイティブメイクアップ② アート系	想像力を養い、アートメイクを仕上げるこtが出来る
11	シチュエーションメイク①	シチュエーションを設定してメイクアップで表現できるようになる
12	シチュエーションメイク②	シチュエーションを設定してメイクアップで表現できるようになる
13	イメージメイクアップ⑤	モデルの造形を理解しメイクアップ出来るようになる
14	作品づくり	ヘアメイク(服装も)を行い撮影まで出来るようになる
15	定期試験	ヘアメイク(服装も)を行い撮影まで出来るようになる

科目名 (英)	トレンドメイクⅡ Trend Make Up Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科コスメティック専攻	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会シルバー資格を取得する。最新トレンドルックのメイクを学び習得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のシルバー資格を取得する。最新トレンドルックのメイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト シルバー			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学①	化粧品とは、薬機法、効能効果、薬用化粧品、構成成分の理解と説明ができる。
2	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学②	全成分表示、美容成分、メラニンのメカニズム、美白成分、薬用化粧品の有効成分、品質向上、安定化成分の理解と説明ができる。成分解説ができる。
3	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学①	皮膚とは、表皮・真皮、皮膚付属器官の理解と説明ができる
4	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学②	爪、まつ毛、皮下組織、役割、季節と肌までの理解と説明ができる。
5	化粧品販売員検定シルバー:スキンケアカウンセリング	スキントイプ、皮膚のトラブル、スキンケアカウンセリングまでの理解と説明ができる。
6	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 8割以上の正解
7	化粧品販売員検定シルバー中間試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験
8	トレンドルック① YSL	YSLのメイクパターンを分析・実習する。
9	トレンドルック② ANNA SUI	ANNA SUIのメイクパターンを分析・実習する。
10	トレンドルック③ CHANEL・Dior	CHANEL・Diorのメイクパターンを分析・実習する。
11	トレンドルック④ ジルスチュアート	ジルスチュアートのメイクパターンを分析・実習する。
12	トレンドルック⑤ NARS	NARSのメイクパターンを分析・実習する。
13	トレンドルック⑥ THREE・セルヴォーク(オーガニック)	THREE・セルヴォーク(オーガニック)のメイクパターンを分析・実習する。
14	定期試験対策 ハイブランドメイク	ハイブランドのメイクアップ実技試験
15	定期試験	ハイブランドのメイクアップ実技試験

科目名 (英)	スキンケアアカウンセリングⅡ Skin Care CounselingⅡ	年次	2	実務経験	担当	齊藤 朋子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科/コスメティック専攻	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	CS専攻(木3・4)
講師紹介	国内大手化粧品会社に美容部員入社。海外派遣・メイクアップアドバイザー等経験後、施策担任として社内外のセミナーや教育に携わる。現在はエステサロンオーナー兼、現役エステティシャンとして活動中。「お客様に寄り添うスキンケアアカウンセリング」を意識した講義・演習を目指しています。					
目的 科目概要	お客様のご要望に合わせたスキンケアアカウンセリングに必要な基礎力を身に着ける。 日本コスメティック協会対策で基礎知識をマスターし、スキンケアアカウンセリングへの活かし方を実践的に学ぶ。					
到達目標	お客様のお悩みやご要望を知るための質問ができ、お悩みの原因と対策を説明できる。 定期試験で日本コスメティック協会化粧品検定試験「コスメマイスター」合格を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	日本コスメティック協会検定テキスト コスメQ&A			事前事後 学習と その内容	コマシラパスで授業内容を確認し、事前に検定テキストを確認することで、授業当日の理解度が深まります。その際に前の週の内容も復習するようにしましょう。	
教材						
特記事項	授業中はノートに大切なポイントをメモをすること					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアアカウンセリングⅡの進め方 化粧品の定義	検定テキスト【Q1～11】 スキンケアの選び方・効果の伝え方を学ぶ
2	肌の基礎知識「表皮」「敏感肌」	検定テキスト【Q81～88】【Q101, 104, 105】 春の肌変化に合わせたスキンケアの必要性を伝える
3	肌の基礎知識「キメ・肌質」 スキンケア「化粧水」	検定テキスト【Q97～100】【Q12・24・25・50・17・76】 スキンケア「ベーシックケア」の必要性を伝える・振り返り
4	スキンケア「乳液・クリーム」 油性成分・保湿剤	検定テキスト【Q27～29】【Q46～49, 53～55】 肌質別乳液・クリームの必要性を伝える
5	スキンケア「クレンジング」 界面活性剤	検定テキスト【Q18～23】【Q69～70】 メイク落としの選び方・肌悩み別洗顔のポイントを伝える
6	スキンケア「美容液・マッサージ・パック」	検定テキスト【Q26, 30, 31】【109, 110】 スキンケア「スペシャルケア」の必要性を伝える・振り返り
7	中間試験	試験範囲：第1回～6回までの内容 試験後、検定テキスト【Q37～42】【Q51, 52, 66】
8	化粧品の安全性	検定テキスト【Q43～45, 59】【71, 73, 77～80】 お客様に安全性をお伝えする
9	化粧品と医薬部外品	検定テキスト【Q13～16】【56～58】 肌悩みに合わせてスキンケアを選ぶ・振り返り
10	夏の肌と紫外線	検定テキスト【Q106～108, 74, 75, 32～37】 紫外線対策の必要性を伝える
11	シミと対策	検定テキスト【Q118～122】【60～62, 68】 肌悩み「シミ」の原因と対策を伝える・振り返り
12	乾燥・くすみ・くま・赤ら顔	検定テキスト【Q113～117, 123, 124, 133】 乾燥・くすみの原因と対策を伝える
13	しわ・たるみ・毛穴	検定テキスト【Q125, 127, 132, 63～65】 しわ・たるみの原因と対策
14	前期まとめ	コスメマイスター検定模擬試験(試験対策)
15	定期試験	日本コスメティック協会検定コスメマイスター試験

科目名 (英)	トータルビューティー技術Ⅱ Total beautyⅡ	年次	2	実務経験	担当	伊藤 葉子
		授業形態	講義			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科トータルビューティー専攻	単位	4			曜日・時間
講師紹介	AEAJアロマセラピーインストラクター/アロマセラピーセラピスト、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、エステティック教育に20年以上尽力してきた講師が、アロマセラピーに必要な知識と技術をわかりやすく丁寧に講義する。					
目的 科目概要	目的: (AEAJ)アロマ環境協会アロマセラピー検定合格に必要な知識と技術を学ぶ。 概要: アロマセラピーを正しく行うために必要な知識を幅広く学び、資格取得のための知識を習得する。具体的には、精油の知識と取扱い方、身体への影響、美容と健康、アロマセラピーの歴史、関連法規、アロマセラピーを利用したトリートメント法やクラフト作りを学ぶ。					
到達目標	(AEAJ)アロマ環境協会アロマ検定1級・2級合格に必要な知識と技術を習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	アロマセラピー検定公式テキスト		事前事後学習と その内容 ・毎回の授業後ノートの清書をし、資料をファイリングする。(20分) ・授業前日までにテキストを用意し内容を確認する。(10分)			
教材	プリント適宜配布/筆記用具持参					
特記事項	必要な内容はメモを取ること。基本的に無断での写真撮影、動画撮影を禁止する。必要な場合は許可を得ること。授業中はマスクを着用し、相モデル技術の際はフェイスシールドを着用する。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	アロマセラピーの基本①ホリスティック	アロマセラピーとホリスティックについて学び、AEAJによるアロマセラピーの定義を知る。 ／芳香浴法: 実際に精油ビンを取り扱い、芳香浴を実践する。
2	アロマセラピーの基本②精油の知識	精油の特性とさまざまな作用、精油の抽出方法を学ぶ。 ／手浴法: 目的に合わせた精油を選択し、手浴を実践する。
3	アロマセラピーの基本③精油の安全性	精油を安全に使用するために、注意すべき対象者や精油の種類、保管方法について学ぶ。 ／吸入法: 精油を嗅ぎ分け選択し、吸入を実践する。
4	アロマセラピーのメカニズム①皮膚から伝わる経路	皮膚のしくみを理解し、精油が伝わるしくみと皮膚に対する作用を学ぶ。 ／フェイシャルスチーム: 精油を含んだ蒸気でフェイシャルスチームを体験する。
5	アロマセラピーのメカニズム②心身に伝わるしくみ	嗅覚器と脳のしくみを理解し、嗅覚器から脳に伝わる経路と心身への作用を学ぶ。 ／アロマクラフト作製: 場所や用途に合わせたアロマスプレーを作製する。
6	美容と健康①ストレス	ストレスとはどのような事かを理解し、ストレスによる心身の変化と、精油がもたらす作用を学ぶ。 ／湿布法: タオルを利用し冷・温湿布を実践する。
7	美容と健康②睡眠/中間試験	睡眠の種類を理解し、質の良い睡眠のためにどのような生活習慣がよいのかを学ぶ。 ／中間試験
8	美容と健康③女性ホルモン	ホルモンの種類と作用を理解し、女性のライフステージとアロマセラピーの関係を学ぶ。 ／アロマクラフト作製: 女性特有の症状に合わせてアロマバームを作製する。
9	美容と健康④スキンケア	「トータルビューティー技術Ⅰ」で学んだトリートメント法を元に、スキンケアとアロマトリートメントについて知識を深める。 ／トリートメント法: アロマオイルを製作し、ハンドマッサージを実践する。
10	アロマセラピーの歴史①古代～中世	アロマセラピーの古代から中世の歴史について学ぶ。単に香りだけでなく、宗教儀式や医療としての利用などを知る。 ／トリートメント法: アロマオイルを作製し、フットマッサージを実践する。
11	アロマセラピーの歴史②近世～近代	アロマセラピーの近世から近代の歴史について学ぶ。産業の発展によりさまざまな香料が生まれ、ハーバリストやアロマセラピストがどのように活躍したかを知る。 ／アロマクラフト作製: アロマピーリングを作製し、フェイシャルピーリングを実践する。
12	アロマセラピーの歴史③現代	日本でのアロマセラピーの発展と、現代の状況を学ぶ。アロマ環境とは何かを知る。 ／トリートメント法: アロマオイルを作製し、フェイシャルマッサージを実践する。
13	アロマセラピーに関する法律	アロマセラピーを実践するうえでトラブルにならないための法律について理解する。 ／アロマクラフト作製: 各自チャートに従って精油を選択し、マイフレグランスを作製する。
14	検定対策	アロマセラピー検定の模擬テストを体験することで知識の確認をする。検定合格に向けて苦手科目の復習を行う。 ／香り嗅ぎテストの実施
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	トータルビューティー技術Ⅱ Total beauty Technology Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	阿部恵理子
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科トータルビューティ専攻	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	TB専攻(木3・4)
講師紹介	ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容専門学校で講師としても活躍。検定試験の内容からサロンで流行している最新のデザインまでレクチャーします。					
目的 科目概要	日々新しい技術やアートが生まれていく業界で、今流行しているアートだけではなく、定番のアートや技術が必要になる難しいアートなどいろんな技術を学び、どんなデザインでも出来るような力を身につける。					
到達目標	様々なアート技術を学び、ネイルテクニックとデザイン力を身に着ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後 学習と その内 容	常に新しい技術を習うので、同じ授業で反復練習ができない。そのため自宅学習で練習したりして、習った技術を忘れないようにすること。自身のデザイン力を高める為のツールとして携帯やPCなどで画像検索したり、撮影することもある為、充電をしたり予備のバッテリーを準備しておくこと。			
教材	ネイル道具一式					
特記事項	ネイルチップまたは自爪で練習するので、ジェルがついている場合はオフしてこること。衛生面に配慮したテーブルセッティングを心がける					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ミラーネイル・アクセサリーネイル	初回授業、教材確認・ミラーネイルのやりかたを覚える、ミラーネイルのデザインを考える
2	マグネットネイル	マグネットネイルのやりかたを覚える、マグネットネイルのデザインを考えて作成したする
3	ホイル・金箔・シェル(貝)	各種つけかたを学び、デザインを考えて作成する
4	人魚の鱗・シェル・フラワー	ノンワイプイクステンションのエンボスアート(2D)
5	デザインを応用	今まで習ったデザインを組み合わせてたり、応用して新しいデザインをつくってみる
6	サロンスタイル	流行のネイルデザインを取り入れて5枚1セットでつくってみる
7	定期試験	決められたテーマでネイルチップ5枚1セットを完成させる
8	デザインネイル①	営業職や窓口業務など、派手にできない方用のデザインを考えて作品をつくる
9	デザインネイル②	パーティーやイベントなどの華やかな装いに合うデザインを考えて作品をつくる
10	デザインネイル③	カジュアルな服装に似合うデザインを考えて作品をつくる
11	デザインネイル④	個性的なファッションに似合うデザインを考えて作品をつくる
12	フットケア①	フットケアセッティング～片付けまで (テーブルセッティング、F+CC+C+消毒)
13	フットケア②	角質ケア～マッサージ (角質除去、ピーリング、マッサージ、カラーリング)
14	フットケア③	フットケア+ジェルカラーリング
15	定期試験	相モデルでフットケア+ジェルネイル(アート2本以上)を完成させる

科目名 (英)	パーソナルカラー応用 Personal Color	年次	2	実務経験	担当	堀川 彩里
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティ専攻	単位	4			曜日・時間
講師紹介	色彩活用パーソナルカラー検定講師、文部科学省後援色彩検定協会認定色彩講師として、美容・ファッション・メイク等各分野の企業や学校にてパーソナルカラー検定や色彩講義を担当。「人」に使える色(似合う色・コーディネート)について、色の効果を体感して楽しみながら学べるようにお伝えします。皆さんで合格を目指しましょう。					
目的 科目概要	似合う色による「自分ブランディング」をアドバイスし提案できるよう、「パーソナルカラー活用アドバイザー」として、パーソナルカラーについて色や色素の特徴を理論的に分析することを学んだり、アドバイス方法等を習得する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に対して色素をもとに「似合う色の選び方」「似合う色の活用方法」などアドバイスや提案ができるようになる。 ・色彩活用パーソナルカラー検定2級(2022年度夏季)合格を目指す。 					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級&2級 公式テキスト・問題集		事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。		
教材	新配色カード199、トーンマップ					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具を持参してください。3級の時の教材だったテキスト、問題集、カラーカード、トーンマップを持参してください。色鉛筆やメイクパレットを使用する授業もあります。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション 色彩学とパーソナルカラー① (PCCS、トーン)	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラー活用アドバイザーとはなにか2級の概要を理解する ・パーソナルカラーシステム(3級の復習) ・PCCSを使って、色を表現(伝えられる)ようにする、PCCSを使った4シーズン別ネイルデザインカラー演習
2	配色技法とパーソナルカラーへの活用①	<ul style="list-style-type: none"> ・配色理論に基づき、似合う色でのカラーコーディネート方法をマスターする(色相配色とトーン配色、4シーズン別のカラーコーディネート)
3	配色技法とパーソナルカラーへの活用②	<ul style="list-style-type: none"> ・配色理論に基づき、似合う色でのカラーコーディネート方法をマスターする(ドミナント配色、グラデーション配色、トーンオントーン配色、アクセントカラー)
4	色彩学とパーソナルカラー② (心理的効果と視覚的効果・色名)	<ul style="list-style-type: none"> ・色の心理的効果を活用する、対比と同化効果についてパーソナルカラーにおける色の見え方を理解する ・慣用色名を使ってパーソナルカラーの色をわかりやすく表現する
5	クライアントを中心にしたアドバイス 色素のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラーアドバイザーとしての手順、クライアントの好きな色と似合う色が異なる場合の対応など様々なケースの対応についてを学ぶ ・似合う色がわかりにくい色素などの見方、肌トラブルや日焼けなどのアドバイステクニック
6	三属性に基づくドレーピング方法	<ul style="list-style-type: none"> ・似合う色を「三属性」でとらえる ・似合う属性ごとの色の見え方について、色素傾向を元に整理する ・ドレープの色の変化とそれに伴う顔映りの変化について
7	似合う色の取り入れ方 中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・4シーズンそれぞれに似合うフアツジョブ、ネイル、メイク、フライタル編など様々なアイテムへの活用法をアドバイスできる知識を習得する。4シーズンシート作成
8	色彩学とパーソナルカラー③ (色の見え方・混色・色名)	<ul style="list-style-type: none"> ・色の見え方と混色の種類と活用(髪の色と混色の関係、印刷物やテレビやSNSなどの画面の色再現のしくみ) ・JIS系統色名を使ってパーソナルカラーの色をわかりやすく表現する
9	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・検定出題傾向と実技問題の解き方(三属性に基づくドレーピング方法、フライタルカラーのアドバイス等) ・これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する
10	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる ・過去問題実施
11	検定対策 検定	
12	シーズン別パーソナルカラーメイク ベストカラー診断	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレーピングとベストカラー ・各シーズンにおけるメイクカラーとイメージを理解し、メイクパレットを使用した演習を行なう
13	シーズン別パーソナルカラーメイク ベストカラー診断	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレーピングとベストカラー ・各シーズンにおけるメイクカラーとイメージを理解し、メイクパレットを使用した演習を行なう
14	クライアントのイメージに合わせたパーソナルカラーメイクとファッションコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・他者へメイクとファッションについて「似合う色の選び方」「似合う色の活用方法」「カラーコーディネート」等の提案を行なう(アドバイスシートの作成と相モデルでメイク)
15	クライアントのイメージに合わせたパーソナルカラーメイクとファッションコーディネート 定期試験(プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> ・他者へメイクとファッションについて「似合う色の選び方」「似合う色の活用方法」「カラーコーディネート」等の提案を行なう(アドバイスシートの作成と相モデルでメイク)、プレゼンテーション

科目名 (英)	ファッション総合Ⅲ FashionⅢ	年次	2	実務経験	担当	矢澤 勇
		授業形態	講義 実技			
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティー専攻	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	FB専攻(木3・4)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中。雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ライフスタイルにファッションは必ずしも関わっているため、ファッションを通じてクライアントとのコミュニケーションツールとしてパーソナルスタイリングや企画などができるようにテクニックを習得するのはファッション業界だけではなく美容業界にも必要な基本知識である。					
到達目標	アパレルショップだけではなくファッション関係の撮影現場での動きなどを学ぶ。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ベーシックスタイリング	今までの復習とスタイリングテクニックの再確認。
2	パーソナルスタイリング①	ベーシックアイテムを使って基本のスタイリング技術を学ぶ。
3	パーソナルスタイリング②	ベーシックアイテムを使ったスタイリングのシーズン別のスタイリング技術を学ぶ。
4	パーソナルスタイリング③	体型べつコンプレックス別のスタイリング技術を学ぶ。
5	スナップ	ショップスタッフのスナップ撮影テクニック
6	スナップ②	物撮りやSNSのアップの仕方テクニック。
7	中間試験	今までの振り返り。
8	VMD 1	店頭での洋服のディスプレイの基礎を学ぶ。
9	VMD 2	洋服のテイストに合わせた畳み方やケア方法、メンテナンス方法を学ぶ。
10	VMD 3	什器を使ってディスプレイテクニックを学ぶ。
11	スタジオ実習	撮影現場での動き方やモデルさんの着付け方法などを学ぶ。
12	パーソナルスタイリング④	レディースとメンズのスタイリングテクニックの違いまたテクニックを学ぶ。
13	パーソナルスタイリング⑤	TPO別のスタイリングテクニックを学ぶ。
14	今までの振り返り	今までの復習をし、テストに向けてプランニングをする。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	村上 礼奈
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	30		開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	1組(水2)2組(水1)
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティーアドバイザーとして都内百貨店に勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けたコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材	スケジュール帳・筆記用具	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介、クラス目標	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする。
2	社会人基礎力を身につける	5年後、10年後のビジョンについて考える
3	社会人基礎力を身につける	きれいな文字でお礼状を書く。
4	社会人基礎力を身につける	人前で報告する
5	グループディスカッション	【テーマ】敬語ではなす
6	グループワーク	面接対策を通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていけるかを考える。
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
8	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。上座・下座について学ぶ。
9	社会人基礎力を身につける	電話対応について学ぶ
10	社会人基礎力を身につける	伝える力を学ぶ。絵を見て覚え、他の仲間に言葉だけで覚えた絵を伝えることができるか。
11	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
12	グループワーク	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身につける。 例)鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
14	定期試験	社会に出ていくために必要なことについてまとめる。800文字以内
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名 (英)	デザイントレーニング Desing Training	年次	2	実務経験	担当	坂田 依智子					
		授業形態	演習								
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	後期					
		単位	2		曜日・時間	1組(水1)2組(水2)					
講師紹介	ウェディングスタイリストとして15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場で婚礼衣装業務、また責任者として部下の育成にも携わってきました。その現場での経験を伝えながら、知識やスキルの指導を行います。										
目的 科目概要	目的: フォーマルウェア、ブライダルについての知識を通して、幅広いトータルコーディネート力を身に付ける。 概要: フォーマルウェア、ブライダルに関するマナーや基礎知識、ドレスのフィッティングスキルを学ぶ。										
到達目標	社会人としてのブライダルに関するマナーを身に付ける。 フォーマルウェアの基礎知識を習得し、ドレスを正しくフィッティングすることができる。										
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品										
教科書	事前事後学習とその内容 毎回の授業では、メモをとりながら臨んでください。わからない箇所はそのままにせず、毎回その場で質問をして解決してください。										
教材							衣裳、小物類 等				
特記事項											

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	結婚とは	通過儀礼、現代の結婚・婚姻の定義を学ぶ。
2	結婚式とは	結婚に関する儀式、慣習、マナーを学ぶ。
3	ドレスの知識	ドレスの歴史、ドレスの種類・ディテール・サイズを学ぶ。
4	ドレスの扱い方・フィッティング	ドレスの扱い方を学ぶ。ドレスのフィッティングテクニックを理解し、実践する。
5	ドレスのフィッティング練習	「素早く、綺麗に」を目標にドレスのフィッティング練習をする。
6	ドレスのフィッティング練習	中間試験に向けて、試験で使用するドレスを決め、相モデルでドレスのフィッティング練習。
7	中間試験	実技試験:ドレスのフィッティング
8	中間試験の振り返り フォーマルウェアの知識	フィードバック。 衣服の概念を理解し、フォーマルウェアの格式、装いの知識を学ぶ。
9	メンズフォーマルの知識	メンズフォーマルの種類・ディテール・サイズを学ぶ。
10	メンズフォーマルのフィッティング	メンズフォーマルの扱い方、フィッティングテクニックを学ぶ。ネクタイの結び方を実践する。
11	ドレスの知識	第3回の授業内容の復習。ドレスの小物について学ぶ。
12	ドレスのトータルコーディネート提案	ドレスのトータルコーディネートのテーマを決め、コンセプトシートを作成する。
13	ドレスのトータルコーディネート実践	前回作成したコンセプトシートをもとに、ドレスのトータルコーディネートを実践する。
14	期末試験対策	期末試験に向けて、学んだ知識の復習をする。
15	期末試験	筆記試験

科目名 (英)	ブランド研究Ⅲ Brand researchⅢ	年次	2	実務経験	担当	矢澤 勇
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	1組(月3.4)2(月曜.1・2)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	オリジナルブランドをプロデュース/企画/生産/ブランディング/プレゼンテーション					
到達目標	クライアントやお客様に対して分かりやすくブランドの魅力を説明することができる能力を培う					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。</p> <p>■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品</p>					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	自己紹介のプレゼンテーション
2	オリジナルブランドプランニング①	テーマ/コンセプト確認
3	オリジナルブランドプランニング②	ラインナップ/ターゲット確認/価格帯確認
4	プレゼンテーション①	オリジナルブランド発表
5	プレゼンテーション②	オリジナルブランド発表
6	試験準備	資料作成
7	中間試験	今までの振り返り試験
8	コンセプトチェック①	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
9	コンセプトチェック②	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
10	ヘアメイクチェック①	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
11	ヘアメイクチェック②	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
12	スタイリングチェック①	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
13	スタイリングチェック②	オリジナルブランドのビジュアル撮影に向けて
14	今までの振り返り	今までの復習をし、テストに向けてプランニングをする。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	ヘアメイクⅣ hair set Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	足立 祐希
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事をもくこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。					
目的 科目概要	メイクを施術するにあたり、ヘアも合わせて提案できるとお客様の信頼を得られる他、TPOに合わせて美容の仕事でトータルでコーディネート出来るようになる。					
到達目標	TPOにあった様々なシチュエーションのヘアメイクをトレンドを入れ提案できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容 授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	浴衣ヘア	浴衣に合うヘアセットを学ぶ(編み込みサイドシニヨン)
2	浴衣ヘアメイク(アイモデル)	アイモデルにて浴衣に合うヘア、メイクを完成させる
3	結婚式の列席ヘア	結婚式に合う列席ヘアスタイルを学ぶ
4	結婚式列席ヘアメイク	アイモデルにて結婚式に合う列席ヘア、メイクを完成させる
5	デッサンシートの作成	結婚式に行くことを想定した列席向けの作品作り
6	中間試験練習	列席に行くヘアメイクをアイモデルにて練習する
7	中間試験	列席ヘアメイクをアイモデルにて美しく作る
8	花嫁ヘア	花嫁にあったヘアスタイルを学ぶ
9	花嫁ヘアメイクAチーム	アイモデルにてトレンドを入れた花嫁を美しく作る
10	花嫁ヘアメイクBチーム	アイモデルにてトレンドを入れた花嫁を美しく作る
11	日本髪	ウィッグにて日本髪を美しく仕上げる事ができる
12	アレンジ日本髪	ウィッグにてアレンジ日本髪を美しく仕上げる事ができる
13	デッサンシートの作成	3人1組のチームになり、メイク、ヘア、ファッションを融合した作品を作る
14	定期試験に向けた練習	定期試験に向けテーマにあった練習をする
15	定期試験(日本をテーマにしたヘアメイク)	日本をテーマにした作品をヘア、メイク、ファッションを融合させて作る

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅳ Still Hair Make Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	小泉哲郎
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			
講師紹介	教員としても長いキャリアを持つ為、分かりやすくレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学び、テーマ合わせたファッションやヘアメイクのリバイバルについて考える。					
到達目標	各時代背景とファッションやメイクとの関連性を理解したうえで、年代別のトレンドを習得し、撮影を伴う作品としての制作を意識する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	メイクの歴史	古代～現在までの国内外の時代背景に伴うメイク歴史について
2	1920年代トレンド	20年代(グretaガルボやマレーネ・トリッチ)をベースとしたデザイン&実技
3	1950年代トレンド①	50年代(オードリー・ヘップバーン)をベースとしたデザイン&実技
4	古代～中世	古代～中世をベースとしたデザイン考案
5	古代～中世	考案したデザインを元にヘアメイク実習
6	中間試験対策	フォトグラファーによる作品撮り①
7	中間試験	フォトグラファーによる作品撮り②
8	1950年代トレンド②	50年代(マリリン・モンロー)をベースとしたデザイン&実技
9	1960年代トレンド	60年代(ツイッギーやボルドー)をベースとしたデザイン&実技
10	1980年代トレンド	80年代をベースとしたデザイン&実技
11	1990年代トレンド	90年代をベースとしたデザイン&実技
12	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをベースとしたデザイン考案
13	2000～2020年代(現代)トレンド	考案したデザインを元にヘアメイク実習
14	定期試験対策	フォトグラファーによる作品撮り①
15	定期試験	フォトグラファーによる作品撮り②

科目名 (英)	トータルセールス Total sales	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科コスメティック専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	CS専攻(水3・4)
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。退職後は、youtubeやインスタグラムにてメイク動画やコスメを配信中。					
目的 科目概要	ビューティアドバイザーの業務を学ぶ。ロールプレイングを行い、販売テクニックを学ぶ。					
到達目標	販売以外にも、たくさんの業務があることを理解できる。販売ロールプレイングを反復練習し、お客様のニーズにあったアイテムカウンセリングが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	ロープレで指摘を受けたところは、しっかりメモを取り次に生かすこと。授業で聞きたい質問があれば、事前に考えてきてください。		
教材						
特記事項	必ずメモを取るように！					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容部員とはどういう仕事？	ブランドの顔である、美容部員。カウンターにいるときや、日常生活上での心構えを学ぶ。
2	新人ちゃんが大変なこと。	新人ちゃんが直面するたくさんの壁の対処法。自分が経験した大変だったことを話します。
3	新人ちゃんの仕事～中堅まで	仕事内容がどういう流れで変わっていくのか。マネージャーの仕事もお伝えします。
4	売上の話	みんな知りたいところ。ブランドごとに違うとは思いますが、伝えられる範囲でお答えします。
5	実際にロールプレイングしよう	ベースメイクのカウンセリングロールプレイングを行う。
6	実際にロールプレイングしよう2	メイクアップアイテムのカウンセリングロールプレイングを行う。
7	中間試験	頑張りましょう！
8	在庫、備品管理。百貨店、直営店の話。	お店を運営していくうえで、必要な備品の話。館の違いの話。
9	DM(ダイレクトメール)ノクレーム対応	お客様にお配りや、郵送するDM。どんなものがある？ クレームをいただいたときの対応方法は？
10	私がやってきた販売テクニックはこれだ	メモ必須授業！！！！
11	ロープレ総復習	個々の課題を見つけ、実践につなげよう。
12	ロープレ発表会 前編	みんなで発表しあい、褒めあおう！
13	ロープレ発表会 後編	みんなで発表しあい、褒めあおう！
14	試験前の復習	総復習をして、定期試験に臨みましょう。
15	定期試験	頑張りましょう！

科目名 (英)	スキンケアアカウンセリングⅢ Skin Care Counseling Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	齊藤 朋子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科/コスメティック専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	CS専攻(木3・4)
講師紹介	国内大手化粧品会社に美容部員入社。海外派遣・メイクアップアドバイザー等経験後、施策担任として社内外のセミナーや教育に携わる。現在はエステサロンオーナー兼、現役エステティシャンとして活動中。「お客様に寄り添うスキンケアアカウンセリング」を意識した講義・演習を目指しています。					
目的 科目概要	目的: お客様のお悩み・ご要望に合わせたスキンケアアカウンセリングができる。 科目概要: 様々な設定に合わせて、声掛け・質問・肌診断・タッチアップなどを行いながらロールプレイ形式でアイテムを選びやアドバイスを行う。					
到達目標	お客様のご要望を知るための質問ができ、お悩みの原因・対策を説明できる。 お客様の肌状態・環境・志向などを考慮し、アイテムを選び説明・アドバイスができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	日本コスメティック協会検定テキスト コスメQ&A			事前事後 学習と その内容	コマシラパスで授業内容や準備物などを確認しておくこと。 授業中は、机をコスメカウンターと考え、常に美しく整える習慣を身につけましょう。	
教材	1年次に使用したテキスト等					
特記事項	授業中はノートに大切なポイントをメモすること					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアアカウンセリング応用の進め方と準備	スキンケアアカウンセリングに使用するスキンケアアイテムを各自まとめる
2	秋の肌とスキンケアアカウンセリング	秋の肌状態に合わせたスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
3	スキンケアアカウンセリング【シミ】①	美白アイテム指名のお客様への対応(ロールプレイ)
4	スキンケアアカウンセリング【シミ】②	シミにお悩みのお客様に対するスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
5	スキンケアアカウンセリング【ニキビ】①	ニキビにお悩みのお客様へ原因と対策を伝える
6	スキンケアアカウンセリング【ニキビ】②	ニキビにお悩みのお客様に対するスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
7	中間試験	秋の肌・シミ・ニキビの原因と対策、アイテム選び、及び生活環境のアドバイスができる
8	スキンケアアカウンセリング【毛穴】①	毛穴ケアアイテム指名のお客様への対応(ロールプレイ)
9	スキンケアアカウンセリング【毛穴】②	毛穴にお悩みのお客様に対するスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
10	スキンケアアカウンセリング【しわ】①	しわ対策アイテム指名のお客様への対応(ロールプレイ)
11	スキンケアアカウンセリング【しわ】②	シミにお悩みのお客様に対するスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
12	冬の肌・リピート客対応スキンケアアカウンセリング	リピート客に季節に合わせたお手入れ法やアイテムをご紹介する(ロールプレイ)
13	顧客対応スキンケアアカウンセリング	指名アイテム購入目的でご来店の顧客へスキンケアアカウンセリング(ロールプレイ)
14	後期のまとめ	これまでの総復習
15	定期試験	冬の肌・毛穴・しわの原因と対策、アイテム選び、及び生活環境のアドバイスができる

科目名 (英)	トータルビューティー技術Ⅲ Total beauty Technology Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	高岸裕一/阿部恵理子
		授業形態	講義			
		時間数	60			
学科・コース	メイクアップ科トータルビューティ専攻	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	TB専攻(火3・4)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。 ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容専門学校で講師としても活躍。検定試験の内容からサロンで流行している最新のデザインまでレクチャーします。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格を取得する。トレンドカラーを理解し習得する。 日々新しい技術やアートが生まれていく業界で、今流行しているアートだけではなく、定番のアートや技術が必要になる難しいアートなどいろんな技術を学び、どんなデザインでも出来るような力を身につける。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ資格を取得する。4シーズンのメイクアップの特徴を理解し習得する。 様々なアート技術を学び、ネイルテクニックとデザイン力を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト/テクニカルシステムベーシック			事前事後 学習と その内容	常に新しい技術を習うので、同じ授業で反復練習ができない。そのため自宅学習で練習したりして、習った技術を忘れないようにすること。自身のデザイン力を高める為のツールとして携帯やPCなどで画像検索したり、撮影することもある為、充電をしたり予備のバッテリーを準備しておくこと。	
教材	メイク道具一式/ネイル道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出 ネイルテップまたは目爪で練習するので、ジェルがついている場合はオフしていただくこと。衛生面に配慮したテーブルセッティングを心がけるように。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	クリスマスネイル	1年生や2年生の前期の授業を思い出してクリスマスのデザインをつくりましょう
9	べっ甲ネイル・タイダイ柄・ニュアンスネイル	2色以上を混ぜ合わせたデザインをおぼえて、5枚1セットの作品をつくる
10	ニットネイル	ニットネイルの作り方をおぼえて、5枚1セットの作品をつくる
11	季節のアート①	春をテーマにジェルネイルのデザインを5枚1セットで2種類考えて作品をつくる
12	季節のアート②	夏をテーマにジェルネイルのデザインを5枚1セットで2種類考えて作品をつくる
13	季節のアート③	秋をテーマにジェルネイルのデザインを5枚1セットで2種類考えて作品をつくる
14	季節のアート④	冬をテーマにジェルネイルのデザインを5枚1セットで2種類考えて作品をつくる
15	定期試験	決められたテーマで時間内に相モデルで10本ジェルアートをする

科目名 (英)	トータルビューティ技術Ⅲ Total Beauty Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科 トータルビューティ専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	TB専攻(木1・2)
講師紹介	国内外で勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が、エステティックのトータル技術やスキンケアに対する知識を丁寧に指導する。一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践・アドバイス出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:お客様に合わせたプランを提供できるように、各種トリートメントの理論と知識を習得する 概要:フェイシャル機器、ボディ機器、マッサージ、パック、コンサルテーション理論の習得と美肌検定筆記対策					
到達目標	・肌トラブルに合わせたコース選択と正確な技術ができる ・美肌検定に合格する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	美肌検定の教科書		事前事後 学習と その内容			
教材	プリント適宜配布					
特記事項						
授業終了後から次の授業までにテクニックの復習を行い、手順を覚えてから授業に参加すること。						

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイシャルトリートメント 吸引、マッサージ	吸引の目的効果、禁忌事項、注意事項、手順を習得する
2	フェイシャルトリートメント 酵素、マッサージ	酵素の目的効果、禁忌事項、注意事項、手順を習得する
3	フェイシャルトリートメント ゴマージュ、パック	ゴマージュの目的効果、禁忌事項、注意事項、手順を習得する フェイシャルパックの効果、成分、手順を習得する
4	フェイシャルトリートメント イオン導入、パック	イオン導入の目的効果、成分、禁忌事項、注意事項、手順を習得する フェイシャルパックの効果、成分、手順を習得する
5	フェイシャルトリートメント コンサルテーション、バター	バターの目的効果、禁忌事項、注意事項、手順、リンパ節について習得する
6	フェイシャルトリートメント コンサルテーション、選択トリートメント	フェイシャルトリートメントの組み立てを行う モデルに合わせたトリートメントを行う
7	中間試験	1～6回までの理解度を確認する
8	ボディトリートメント サクション、マッサージ	サクションの目的と効果、禁忌事項、リンパの流れる方向やリンパ節の位置を確認する 効果的なレベルやスピード、走行を意識しトリートメントができる
9	ボディトリートメント G5、マッサージ	G5の目的と効果、禁忌事項、アタッチメントの名称と使用方法を確認する 目的に合ったアタッチメントを選択し、効果的な回転速度や強さでトリートメントできる
10	ボディトリートメント 低周波、マッサージ	低周波の目的と効果、禁忌事項、パディング方法の種類、筋肉の名称と走行を確認する パッドを正しい位置にパディングし、モデルに合わせてモード選択ができる
11	美肌検定対策 パック	美肌検定に必要な理論を習得する ボディパックの効果、成分、手順を習得する
12	美肌検定対策 パック	美肌検定に必要な理論を習得する ボディパックの効果、成分、手順を習得する
13	美肌検定対策 コンサルテーション	美肌検定に必要な理論を習得する ボディトリートメントの組み立てを行う
14	美肌検定対策 選択トリートメント	美肌検定に必要な理論を習得する モデルに合ったボディ機器を選択しトリートメントをする
15	定期試験	8から14回までの理解度を確認する

科目名 (英)	ファッション総合Ⅳ FashionⅣ	年次	2	実務経験	担当	矢澤 勇
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティー専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	FB専攻(木1・2)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ライフスタイルにファッションは必ずしも関わっているため、ファッションを通じてクライアントとのコミュニケーションツールとしてパーソナルスタイリングや企画などできるようにテクニックを習得するのはファッション業界だけではなく美容業界にも必要な基本知識である。					
到達目標	アパレルショップだけではなくファッション関係の撮影現場での動きなどを学ぶ。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	バイヤー講座 ①	バイヤーとは(業務内容など)
2	バイヤー講座 ②	リサーチ方法を学ぶ
3	バイヤー講座 ③	仮想バイイング/実践
4	ショップ運営①	セレクトショップの運営方法
5	ショップ運営②	VMDなどを学ぶ
6	ショップ運営③	仮想店舗計画
7	中間試験	今までの振り返り中間試験。
8	2023年 SSファッショントレンド	2023年のSSを予測/リサーチ
9	2023年 SSヘアアンドメイク	2023年のSSを予測/リサーチ
10	ショップリサーチ①	銀座のショップをリサーチ
11	ショップリサーチ②	銀座のショップをリサーチ
12	テストシュート	テストに向けて撮影実習予行練習
13	スタイリングチェック	スタイリングチェック/撮影タイムスケジュール
14	定期試験対策	過去の授業のおさらいを踏まえて対策
15	定期試験	

科目名 (英)	販売管理 Sales management	年次	2	実務経験	担当	渥美やよい
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティ専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	FB専攻(木1・2)
講師紹介	一般社団法人国際スタイリングカウンセラー協会認定生 現役大手着物ブランドスタイリスト。和洋KIMONOスタイリングのバイオニア。和服。洋服。和洋折衷に特化。					
目的 科目概要	目的:ファッションの接客・販売に必要な知識を活かすための提案力・応対力、及び、付随する業務を理解し身につける。 概要:個々に合わせたアイテムや着こなしを学び、幅広い商品の提案力、及び販売員に相応しいマナーを身につける。 店舗の数字管理、クレーム対応、商品管理の基礎を学ぶ。					
到達目標	お客様に合わせた提案・アドバイス及び、限定商品などのご紹介がスムーズにできる。 クレームの対応、処理ができる。店舗運営に必要な管理業務を理解する。					
	■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無し・授業毎にマニュアルを配布。			事前事後 学習と その内容		
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業においてメモをとる事					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	この授業の目的と、ファッションの現場で今スタッフに求められていることを学ぶ。
2	TPO販売力を身に付ける①	お祝いや晴れの日の装いをお探しのお客様への提案 結婚式参列、謝恩会、成人式パーティー等
3	TPO販売力を身に付ける②	子育て世代のお客様への提案 お子様と一緒に少しおしゃれをしてお出かけ。
4	TPO販売力を身に付ける③	30代～40代のお客様への提案 トレンドを取り入れながらも着心地の良いファッション。
5	在庫管理①	店舗の在庫管理に関わる業務を知る(発注、ストック、返品等)
6	在庫管理②	セールに関する業務内容を知る。
7	中間試験	
8	販売ロールプレイ	お声がけから商品提案、クロージングまで一連の接客の流れをスムーズに行えるようになる。
9	クレーム対応のロールプレイ①	店舗でのクレーム対応を知り、クレーム処理を学び、ロールプレイを行う。
10	クレーム対応のロールプレイ②	店頭で起こりうる様々なパターンのクレームを考え、どうしたらクレームが起らなかったかの対策を考える。
11	接客マナー(電話)	店舗での様々な電話の対応を知り、クレーム処理を学び、ロールプレイを行う。
12	売場の数字管理 接客マナー(メール)	売上金額、客単価、達成率、前年対比、在庫金額について学び算出する。 メールのマナーを学ぶ。
13	限定商品の紹介・予約ロールプレイ 接客マナー(手紙の書き方)	限定商品のご紹介とご予約販売商品のロールプレイ 手紙の書き方を学び、演習を行う。
14	これまでの総復習	これまで学んだことを活かし、様々な場面を想定したロールプレイを行う。
15	期末試験	・期末試験